

# CLTの利用拡大等について

## 1. 国産材利用の課題

### ○ウッドファースト社会の構築

まず、木材が使えないか検討する

今まであまり使われてこなかった分野での木材利用拡大

### ○「伐って、使って、植えて、育てる」、循環型森林・林業・木材産業

山に返せる木材産業

間伐から主伐の時代へ

## 2. CLTへの期待

### ○木造中高層建築物等新たな分野への利用拡大

木造建築物の可能性の拡大

木材利用の総量の拡大

### ○国産材カスケード利用の強化

原木を無駄なく使いきる流通加工体制

他資材並みの供給体制

# CLTの利用拡大等について

## 3. 次期ロードマップに向けて

### ○「柔らかい木材利用」と「硬い木材利用」

木材の美観、質感を活かした「柔らかい木材利用」

鉄、コンクリート等と同様に扱える「硬い木材利用」

国産材のカスケード利用には、この二つの組合せが重要

CLTも、「硬い」、「柔らかい」の使い分け

設計・施工一体となった高付加価値製品と低価格で安定供給可能な製品

### ○安定供給体制の確立

安定生産のための計画的な調達

ラミナを含めた規格化の推進

原木から製品までの間のストック等流通体制の整備

### ○技術開発の一層の推進

金物、基礎工事等も含めた利用技術開発の促進

マザーボード生産、加工、運搬、施工までのトータルでのコスト低減